

平成27年度

総会資料

日時 平成27年6月12日(金)

午後1時30分～

会場 埼玉会館(7B会議室)

埼玉県図書館協会

平成27年度埼玉県図書館協会総会次第

日時 平成27年6月12日(金)

13時30分～

場所 埼玉会館 7B会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

- (1) 平成26年度事業報告について(第1号議案)
- (2) 平成26年度歳入歳出決算調書について(第2号議案)
- (3) 平成27・28年度役員(案)について(第3号議案)
- (4) 平成27年度事業計画(案)について(第4号議案)
- (5) 平成27年度歳入歳出予算書(案)について(第5号議案)
- (6) 「図書館と県民のつどい埼玉2015」開催要項(案)について(第6号議案)
- (7) 埼玉県公共図書館等における資料保存に関する協定の改正(案)について(第7号議案)
- (8) その他

4 記念講演

演題 「走れ！移動図書館～本でよりそう復興支援」

講師 鎌倉 幸子 氏 (公益社団法人シャンティ国際ボランティア会広報
課長兼東日本大震災図書館事業アドバイザー)

5 閉 会

第1号議案

平成26年度埼玉県図書館協会事業報告

事業名	期日	会場	内容	人数
会議等	監査	26.5.9	県立浦和図書館 平成25年度分埼玉県図書館協会会計監査	3
	理事会	26.5.20	埼玉会館 平成25年度事業報告・決算報告、平成26年度役員(案)、平成26年度事業計画・予算(案)、図書館と県民のつどい埼玉2014の開催	28
	総会	26.6.13	埼玉会館 平成25年度事業報告・決算報告、役員選出、平成26年度事業計画・予算他 記念講演「地域と図書館の未来～コミュニティの核として」 講師 猪谷 千香氏(ジャーナリスト、作家)	68
	常任理事会	27.3.13	市民会館うらわ 「図書館と県民のつどい埼玉2014」記録 平成26年度事業報告・予算執行状況 平成27・28年度役員選出(案)、平成27年度事業の概要	12
主催事業	学校図書館研究大会	26.7.31	さいたま市プラザウエスト ア 全体会 「町ぐるみで子どもを本好きに～町立図書館と学校図書館の連携を中心に」 三芳町立中央図書館 副館長 代田知子氏 イ 講演会 演題 「絵本作りの思いと出版流通の現状」 講師 文研出版顧問 佐藤藤廣氏 ウ 分科会 分科会A「学校図書館の運営と充実」 分科会B「学校図書館を活用した授業実践」 分科会C「生きる力と豊かな心を育む読書活動の在り方」 分科会D「連携による読書活動の推進の在り方」	138
	館長等研修会	26.10.15	埼玉県立歴史と民俗の博物館 講演「県立図書館の今後の在り方と図書館協力の発展に向けて」 講師：埼玉県立熊谷図書館 館長 乙骨敏夫氏 報告「県立図書館の障害者サービス」 講師：埼玉県立久喜図書館 司書主幹 佐藤聖一氏 加盟館から「図書館評価の実施について」等、6項目の取組状況を聴取し、集計結果を配布した。	32
	図書館協力担当者会	26.6.20	さいたま文学館 第1回図書館協力担当者会 ・「図書館協力ハンドブック2014年版」について ・連絡車及び協力車における信書の取扱いについて ほか	93
		26.12.19	さいたま文学館 第2回図書館協力担当者会 ・県立浦和図書館の閉館について ・県立久喜図書館の耐震改修工事休館について ・市町村図書館からの質問・意見-転送依頼窓口について ほか	74
	公民館図書室実務担当者会	26.7.3	県立熊谷図書館 内容 相互貸借業務の基本、配本業務の説明及び運営相談等	10

事業名	期日	会場	内容	人数
主催事業	公共図書館等職員研修会	26.6.27	県立近代美術館 第1回 講義 「図書館サービスと著作権」 講師 日本図書館協会 安発義彦氏	73
		26.12.3	市民会館うらわ 第2回 講義 「図書館利用者へのサービス向上を目指して 一心の病を持つ方への対応を学ぶ」 講師 臨床心理士 菊池礼子氏	59
	新任職員研修会	26.5.15	さいたま文学館 講義「図書館界の現状と動向について」 講師 常磐大学、松本大学松商短期大学部 非常勤講師 内野安彦氏 講義「図書館協力・相互貸借について」 講師 図書館ネットワーク専門委員会 講義「障害者サービスについて」 講師 障害者サービス専門委員会	83
		26.5.29	さいたま文学館 講義「児童サービスについて」 講師 児童サービス専門委員会 講義「地域・行政資料について」 講師 地域資料専門委員会 講義「レファレンスについて」 講師 参考調査専門委員会	87
	中級職員研修会	26.10.1	武蔵浦和コミュニケーションセンター 講義「図書館政策の動向～図書館サービス計画実施の基礎として～」 講師 千葉県立西部図書館 大石 豊氏	7
		26.10.16		講義「図書館経営の評価」 講師 慶応義塾大学 岸田和明氏
		26.10.30	飯能市立図書館 講義「図書館の魅せ方～図書館のイメージアップ戦略～」 講師 図書館コミュニケーションデザイナー 押樋良樹氏	13
		26.11.14	富士見市立中央図書館 講義「指定管理者制度による図書館運営」 講師 富士見市立中央図書館 田中一氏	11
	図書館とつどい埼玉2014	26.12.14	桶川市民ホール・さいたま文学館 ア 記念講演 「フィクションの向こう側 — 小説家という仕事について」 講師 辻村深月氏（作家） イ ビブリオバトル(知的書評合戦) ウ こども読書活動交流集会 ・こどもと詩の講座「こどもと詩の世界を楽しもう！」 ・わらべうた講座「わらべうたは豊かな言葉の世界」 ・科学読み物講座「身近な自然は、ふしぎがいっぱい！」 エ 展示 ・大学図書館「SALA加盟図書館所蔵資料展示会」 ・高校図書館「知ってる？高校図書館」 ・公共図書館「図書館彩ター見てください！うちの図書館ここが自慢—」 「ブックケア 未来へつながる保存の技術」ほか	2,389

事業名	期日	会場	内容	人数	
専門委員会 参考調査専門委員会	研修企画委員会	27.3.11	県立浦和図書館 年間1回開催 埼玉県内公共図書館職員を対象とした体系的な研修を企画した。	4	
	図書館ネットワーク専門委員会	27.2.6	埼玉教育会館 研修会の開催 講演1「『Web版ISBN総合目録』の概要と汎用性」 講師:間部 豊氏(帝京平成大学 講師) 講演2「カーリルの図書館APIやシステム連携で広がる可能性」 講師:吉本 龍司氏(株式会社カーリル代表取締役)	24	
	2分科会を設け、各分科会とも年3回の研修会を開催し、最後に2分科会参加者全員を対象として全体研修会を実施した。				
	第1分科会(レファレンス入門講座)				
	第1回 26.6.25	県立浦和図書館	講義「①レファレンスの概要 ②レファレンスツール紹介」 講師 県立浦和図書館 東 達也氏 県立浦和図書館見学	36	
	第2回 26.9.26	県立久喜図書館	実習「レファレンス実習(4類、5類 7~9類)」 講師 参考調査専門委員 県立久喜図書館見学	35	
	第3回 26.11.7	県立熊谷図書館	実習「レファレンス実習(0~2類、3類、6類)」 講師 参考調査専門委員 県立熊谷図書館見学	34	
	第2分科会(レファレンス事例・資料研究)				
	第1回 26.7.18	県立久喜図書館	実習「図書・雑誌・インターネット・オンラインデータベースを使ったレファレンス(自然科学・芸術・文学分野)」 講師 県立久喜図書館 大島恵津子氏	22	
	第2回 26.9.19	県立熊谷図書館	実習「図書・雑誌・インターネット・オンラインデータベースを使ったレファレンス(人文科学分野)」 講師 県立熊谷図書館 長島利弘氏	26	
	第3回 26.11.28	県立浦和図書館	実習「図書・雑誌・インターネット・オンラインデータベースを使ったレファレンス(社会科学・産業分野)」 講師 県立浦和図書館 高野治子氏	22	
	全体研修会				
	27.1.16	さいたま市立中央図書館	報告「一年間の参考調査研修会を振り返って」 報告者 第1分科会 筒井美佳氏(戸田市立図書館) 第2分科会 齋藤香織氏(朝霞市立図書館) 講演1「地図の調製根拠とその活用—文書館蔵地図を例として」 講師 埼玉県立文書館 増山聖子氏 講演2「国立国会図書館を使いこなす」 講師 国立国会図書館 渡辺由利子氏	63	

事業名	期日	会場	内容	人数
障害者サービス専門委員会	障害者サービス実態調査の実施、DAISY利用促進ポスターの作成・配布（200部）			
	研修会の開催（年2回）			
	26.6.12	さいたま市立中央図書館	第1回 入門編（初任者向け研修） ・「視覚障害者等のための郵送貸出をもっと進めよう！」 さいたま市立中央図書館 平間 幸代 氏 ・障害者サービスの体験研修 ①サビエを使った資料検索、貸出申込 ②デジ再生機を使いこなす ③点字の読み書き	38
26.11.21	埼玉会館	第2回 実務編（中級者向け研修） 講義「障害者の権利条約が日本を変える 図書館における障害者への『合理的配慮』とは」 講師：日本DAISYコンソーシアム代表 河村 宏 氏 講義「障害者から高齢者まで誰もが使えるDAISYを 目指してスマートフォン等によるDAISY利用の最新状況」 講師：千葉県立中央図書館 若菜 洋好氏	33	
地域資料専門委員会	研修会の開催（年2回）			
	26.7.4	さいたま市立北浦和図書館	第1回 講義と実習 「図書館における資料保存の基本的な考え方と予防的な対策」 講師 青木留美子氏（国立国会図書館収集書誌部資料保存課和装本保存係長）	30
	26.10.22	埼玉県立浦和図書館	第2回 ・実技研修「図書資料補修の技術－ステップアップ編 無線綴本の修理」 講師 県立久喜図書館 神原陽子氏	17
児童サービス専門委員会	4分科会を設け、各分科会とも年5回の研修会を開催した。午前は各分科会ごとの研修会を開催し、午後は4分科会参加者全員を対象として全体研修会（主に講演会）を開催した。第2・4・5回は、全日、分科会での研修会とした。			
	第1回 26.7.2	県立久喜図書館	1分科会 A分科会「児童サービス入門」 B分科会「図書の評価とブックトーク」 C分科会「おはなし会」 D分科会「乳幼児サービス」 2全体研修会 講演「がんばれ！ 児童図書館員」 講師 元東京都立多摩図書館職員 杉山きく子氏	93
	第2回 26.9.17	県立久喜図書館	1分科会 A, B, C, Dの分科会	82
	第3回 26.11.19	県立久喜図書館	1分科会 A, B, C, Dの分科会 2全体研修会 講演「スウェーデン こどもの本の魅力」 講師 翻訳家 菱木晃子氏	86

事業名		期日	会場	内容	人数
専 門 委 員 会	児童サービス 専門委員会	第4回 27.1.21	県立久喜図書館 久喜総合文化会館 久喜市立久喜東小学校 久喜市立中央保育園	1分科会 A, B, C, Dの分科会	80
		第5回 27.3.4	県立久喜図書館	1分科会 A, B, C, Dの分科会 ・各分科会からの年間活動報告	76
会 報 等	埼玉の公立図書館	26.9		平成26年度「埼玉の公立図書館」の発行（765部）	

平成26年度埼玉県図書館協会歳入歳出決算調書

歳入

単位(円)

内訳	予算額	収入済額	比較増減額	備考
会費・負担金	1,979,000	1,979,000	0	小:763 中:397 高特:173 大:17 @500×1,350校=675,000円 公立図書館:74館=1,304,000円
助成金	197,288	194,813	△ 2,475	日本図書館協会助成金94,813円、 (公財)日本教育公務員弘済会埼玉県支部 助成金100,000円
雑収入	12,514	12,600	86	預金利子、「埼玉の公立図書館」有償頒布
繰越金	1,279,183	1,279,183	0	
合計	3,467,985	3,465,596	△ 2,389	

歳出

項目	予算額	支出済額	差引残額	備考
総務費	635,000	557,213	77,787	
事務局費	525,000	453,741	71,259	
旅費	(20,000)	0	(20,000)	事務局職員旅費
消耗品費	(55,000)	(40,223)	(14,777)	コピー用紙など
通信費	(100,000)	(68,032)	(31,968)	郵券、振込手数料
賃金	(350,000)	(345,486)	(4,514)	臨時職員雇用
理事会費	30,000	24,170	5,830	会場使用料
総会費	80,000	79,302	698	会場使用料、講演講師謝金
事業費	2,630,000	1,771,234	858,766	
研修事業費	1,300,000	720,613	579,387	学校図書館研究大会、 6専門委員会、 館長等研修会、 図書館協力担当者会、 公共図書館等職員研修会、 新任職員研修会、 中級職員研修会、 公民館図書室実務者担当者会 講師謝金、
県民のつどい費	900,000	827,494	72,506	ポスター・リーフレット・記録集印刷など
会報等発行費	430,000	223,127	206,873	埼玉の公立図書館の発行など
負担金	39,000	39,000	0	日本図書館協会、 青少年育成埼玉県民会議など
予備費	163,985	0	163,985	
合計	3,467,985	2,367,447	1,100,538	

収入済額 ー 支出済額 = 残額(繰越額)
3,465,596 2,367,447 1,098,149

監査の結果、適正に処理されていることを認めます。

平成27年 5月12日

監事

澤田勝弘



監事

堀山邦明



監事

八島香久子



第3号議案

埼玉県図書館協会 平成27・28年度役員 (案)

役職名	氏名	所属名・職名
会長	田柳 宏	埼玉県立久喜図書館長
副会長 (6名)	木村 直美	朝霞市立朝霞第九小学校長
	大野 好司	埼玉県立川越初雁高等学校長
	藤田 総平	埼玉大学図書館長
	土屋 かおり	三郷市立北部図書館長
	榎本 寛	さいたま市立中央図書館長
	船戸 豊彦	知識の森嵐山町立図書館長
理事長	乙骨 敏夫	埼玉県立熊谷図書館長
常任理事 (11名)	松村 郁巳	深谷市立上柴東小学校長
	田畑 栄一	越谷市立東越谷小学校長
	大谷 慎也	さいたま市立南浦和中学校長
	山本 美千代	埼玉県立浦和北高等学校教頭
	東 直子	埼玉県立草加東高等学校主任司書
	西袋 昇	埼玉大学研究協力部図書情報課長
	田中 薫	さいたま市図書館協議会委員長
	小野寺 勝郎	鴻巣市立鴻巣中央図書館長
	熊谷 尚慶	戸田市立図書館長
	関口 晃造	熊谷市立熊谷図書館長
	小林 彰博	越谷市立図書館長
理事 (23名)	高野 幸子	所沢市立椿峰小学校長
	隅田 浩文	和光市立第三小学校長
	高橋 義樹	川口市立青木中央小学校主幹教諭
	市川 栄子	鴻巣市立小谷小学校教頭
	小池 由美子	埼玉県立川口北高等学校教諭
	加々美 祐江	埼玉県立吉川美南高等学校司書
	岸野 昌代	埼玉県立草加高等学校教諭
	秋山 好正	埼玉県立川越高等学校教諭
	保 かおり	埼玉県立大宮中央高等学校主任司書
	花岡 愛	埼玉県立吹上秋桜高等学校教諭
	鈴木 正紀	文教大学越谷図書館館長補佐
	中村 英子	川口市立中央図書館長
	渡邊 八重子	志木市立柳瀬川図書館長
	小林 智美	富士見市立中央図書館長
	森田 隆	東松山市立図書館長
	石川 久明	越生町立図書館課長補佐
	多田 敏明	知識の森嵐山町立図書館協議会会長
	石田 文子	上里町立図書館長
	白井 浩	八潮市立八幡図書館長
	川名 廣治	越谷市立図書館協議会副議長
	森本 茂弘	埼玉県議会事務局図書室長
	市川 篤史	埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課指導主事
	工藤 孝一	埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課副課長
監事 (3名)	堀山 邦明	蓮田市立蓮田中学校教頭
	八島 香久子	埼玉県立進修館高等学校主任司書
	澤田 勝弘	川越市立中央図書館長

第4号議案

平成27年度埼玉県図書館協会事業計画（案）

1 会議の部

会議名	期日	会場	内 容
監 査	27. 5. 12	県立 熊谷図書館	平成26年度 会計監査
理事会	27. 5. 22	ほまれ会館	平成26年度事業報告及び決算報告、 平成27年度事業計画(案)及び予算(案) 他
総 会	27. 6. 12	埼玉会館	平成26年度事業報告及び決算報告、 平成27年度事業計画(案)及び予算(案) 他 記念講演 演題：「走れ！移動図書館～本でよりそう 復興支援」 講師： 鎌倉幸子氏（公益社団法人シャンティ 国際ボランティア会 広報課長兼東日本大震災 図書館事業アドバイザー）
常任理事会	28. 3	埼玉会館	「図書館と県民のつどい埼玉2015」の 結果等 平成27年度事業報告・予算執行状況等その他

2 事業の部

(1) 主催事業

事業名	内 容
図書館と県民 のつどい埼玉 2015	記念講演、読書・図書館に関する分科会、展示、ビブリオバトルその他 開催日：平成27年12月13日（日） 会場：さいたま市民会館うらわ
学校図書館研 究大会	学校図書館運営概論・図書の整理及び図書館運営の実際等を、実演を 交えながら講習を行う。 [小・中・高・大学図書館担当者対象]
館長等研修会	県内全域を対象とした合同研修として開催 講演、研究協議
図書館協力 担当者会	公共図書館等の相互貸借の実務に関する連絡調整、協力業務に関する 調査研究等。[公共図書館職員対象] 年2回開催予定
公共図書館等 職員研修会	公共図書館の職員を対象に、専門委員会の研修でカバーできない分野 について研修を実施し、資質・能力の向上を図る。年2回開催予定
新任職員研修 会	図書館新任職員を対象に研修会を実施する。 5月14日、5月28日さいたま文学館
中級職員研修	図書館中堅職員を対象に研修会を実施する。 年4回開催予定

事業名	内 容
公民館図書室 実務担当者会	公共図書館未設置町の公民館等において図書室の運営を担当している 職員等を対象に研修会を開催する。年1回開催予定

(2) 専門委員会の部

委員会名	内 容
研修企画 委員会	研修企画委員会（年3回開催）研修会の年間計画策定等 「研修計画策定」他
図書館 ネットワーク 専門委員会	専門委員会（年6回開催）研修会の年間計画策定等 1 図書館ネットワーク研修会（年1回開催） ・内容未定（1月） ----- 2 研究報告書の発行 3月（埼図協ウェブサイトに掲載）
参考調査 専門委員会	専門委員会（年2回開催） 研修会の年間計画策定等 1 分科会研修会（各分科会ごと年3回開催） ----- ・第1分科会（レファレンス入門講座） ----- ・第2分科会（レファレンス事例・資料研究） ----- 2 全体研修会（年1回開催） 事例発表 講演会
障害者サービ ス専門委員会	専門委員会（年2回開催） 研修会及び実態調査の内容等を検討（5・2月） ----- 障害者サービス実務担当者対象の研修会（年2回開催） 第1回 入門編（6月） 第2回 テーマ未定（11月） ----- 「埼玉県内の障害者サービス実態調査」を実施（5月～10月頃）
地域資料 専門委員会	専門委員会（年4回開催） 研修計画策定・準備 ----- 研修会（年2回開催） 第1回 実務研修会（10月） 第2回 実務研修会（1月）
児童サービス 専門委員会	専門委員会（年6回開催） 年間計画策定・研修実施状況報告、調整 ----- 研修会（年5回開催） 各分科会ごとの研修会と、全体研修会（講演会形式2回、発表会形式1回）を実施する。 A分科会 児童サービス入門 B分科会 専門実習講座1（図書の評価とブックトーク） C分科会 専門実習講座2（おはなし会） D分科会 専門実習講座3（乳幼児サービス） ----- 第1回 全体研修会 *半日は分科会実施 講演「図書館の仕事ー児童サービスを通じて（仮）」 講師 神原和子 氏（元小川町立図書館副館長）

委員会名	内 容
児童サービス 専門委員会	第2回 全日分科会を実施 第3回 全体研修会 演題未定 講師 松田素子 氏 (編集者・作家) *半日は分科会実施 第4回 全日分科会を実施 第5回 各分科会発表 「埼玉県公共図書館等児童サービス実態調査」 (8月・9月)

(3) 会報等の部

事 業 名		内 容
会 報 等	会 報 等	協会ウェブサイト上での公開
	埼玉の公立図書館	平成27年度版 750部

第5号議案

平成27年度埼玉県図書館協会歳入歳出予算書(案)

歳入

(単位:円)

内訳	本年度予算額	26年度予算額	比較増減額	備考
会費・負担金	1,906,500	1,979,000	△ 72,500	小: 763 中:395 高特:174 大:17 @500×1,349校=674,500円 公立図書館:73館=1,232,000円
助成金	194,813	197,288	△ 2,475	日本図書館協会助成金94,813円、 (公財)日本教育公務員弘済会埼玉県支部助成金100,000円
雑収入	14,538	12,514	2,024	預金利子、「埼玉の公立図書館」有償頒布
繰越金	1,098,149	1,279,183	△ 181,034	平成26年度からの繰越
合計	3,214,000	3,467,985	△ 253,985	

歳出

(単位:円)

項目	本年度予算額	26年度予算額	比較増減額	備考
総務費	622,000	635,000	△ 13,000	
事務局費	512,000	525,000	△ 13,000	
(旅費)	(20,000)	(20,000)	(0)	事務局職員等旅費
(消耗品)	(55,000)	(55,000)	(0)	資料費・印刷費・事務用品費等
(通信費)	(87,000)	(100,000)	(△ 13,000)	郵券、振込手数料等
(賃金)	(350,000)	(350,000)	(0)	臨時職員
理事会費	30,000	30,000	0	会場使用料、資料費
総会費	80,000	80,000	0	会場使用料、資料費、 記念講演講師謝金
事業費	2,490,000	2,630,000	△ 140,000	
研修事業費	1,250,000	1,300,000	△ 50,000	学校図書館研究大会 6専門委員会 館長等研修会 図書館協力担当者会 公民館図書室実務担当者会 公共図書館等職員研修会 新任職員研修会 中級職員研修会
図書館と県民のつどい事業費	940,000	900,000	40,000	講師謝金、会場使用料、看板制作 ポスター・チラシ作成・郵送
会報等発行事業費	300,000	430,000	△ 130,000	埼玉の公立図書館 ウェブサイトサーバースペース利用料
負担金	39,000	39,000	0	日本図書館協会及び 青少年育成埼玉県民会議等
予備費	63,000	163,985	△ 100,985	
合計	3,214,000	3,467,985	△ 253,985	

第6号議案

「図書館と県民のつどい埼玉 2015」開催要項（案）

—みんなが「図書館」でつながる日—

1 趣旨

- (1) 県内図書館の様々な活動を県民に紹介することで、図書館に対する県民の理解を深め、親しみを持ってもらう
- (2) 県民との交流を通じて、より良い図書館サービスを考える契機とする
- (3) 埼玉県内の子供読書活動に携わる方々や、公共図書館・大学図書館・高校図書館等の協働により実施することで、図書館に関わる連携を深める

2 主催 埼玉県図書館協会 埼玉県教育委員会
埼玉県学校図書館協議会 埼玉県高等学校図書館研究会

3 共催 さいたま文学館

4 協力 埼玉県大学・短期大学図書館協議会（SAL.A）

5 後援 さいたま市 さいたま市教育委員会
公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部

6 期日 平成27年12月13日（日） 午前10時～午後4時

7 会場 さいたま市民会館うらわ

8 内容

- ・ 記念講演
- ・ こども読書活動交流集会（講座等）
- ・ 展示等
- ・ ビブリオバトル
- ・ その他

第7号議案

埼玉県公共図書館等における資料保存に関する協定の改正（案）

（目的）

第1条 この協定は、埼玉県図書館協会公共図書館部会加入館（以下「加入館」という。）における希少資料の保存に関して必要な事項を定め、保存体制の確立を図ることにより、将来にわたり広く県民の利用に供することを目的とする。

（対象となる資料）

第2条 この協定において希少資料とは、地域資料及び雑誌を除いた一般図書及び児童図書のうち、加入館内において1館のみが所蔵し、その所蔵冊数が1冊のみの資料（当分の間、ISBNが付されていない資料は除く。）とする。

（単館所蔵情報）

第3条 加入館は、埼玉版 ISBN 総合目録から抽出した単館所蔵リストにより希少資料であることの確認をするものとする。

（保存）

第4条 希少資料であることが確認された場合は、著しい汚破損等により利用に供することができない場合及び保存除外資料を除き、当分の間、当該資料を所蔵する図書館で責任を持って保存する。

（協議）

第5条 この協定の運用の諸問題等について協議するため、随時加入館の担当者連絡会議を開催する。

（庶務）

第6条 この協定に関し必要な事務は、当分の間、図書館協力担当者会事務局である埼玉県立熊谷図書館において処理する。

（その他）

第7条 この協定に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

この協定は、平成18年6月9日より運用する。

附 則

この協定は、平成 年 月 日より運用する。

埼玉県公共図書館等における資料保存に関する協定の一部を改正する協定新旧対照表（下線部分は、改正部分）

現 行	改 正 案
<p>埼玉県公共図書館等における資料保存に関する協定</p> <p>(目的)</p> <p>第1条 この協定は、埼玉県図書館協会公共図書館部会加入館（以下「加入館」という。）における希少資料の保存に關して必要な事項を定め、保存体制の確立を図ることにより、将来にわたり広く県民の利用に供することを目的とする。</p> <p>(対象となる資料)</p> <p>第2条 この協定において希少資料とは、地域資料及び雑誌を除いた一般図書及び児童図書のうち、加入館内において1館のみが所蔵し、その所蔵冊数が1冊のみの資料（当分の間、ISBNが付されていない資料は除く。）とする。</p> <p>(単館所蔵情報)</p> <p>第3条 加入館は、埼玉版 ISBN 総合目録から抽出した単館所蔵リストにより希少資料であることを確認するものとする。</p> <p>(保存)</p> <p>第4条 希少資料であることが確認された場合は、著しい汚破損等により利用に供することができない場合を除き、当該資料を所蔵する図書館で責任を持って保存する。</p> <p>(協議)</p> <p>第5条 この協定の運用の諸問題等について協議するため、随時加入館の担当者連絡会議を開催する。</p> <p>(庶務)</p> <p>第6条 この協定に關し必要な事務は、当分の間、図書館協力担当者事務局である埼玉県立熊谷図書館において処理する。</p> <p>(その他)</p> <p>第7条 この協定に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。</p> <p>附 則</p> <p>この協定は、平成18年6月9日より運用する。</p>	<p>埼玉県公共図書館等における資料保存に関する協定</p> <p>(目的)</p> <p>第1条 この協定は、埼玉県図書館協会公共図書館部会加入館（以下「加入館」という。）における希少資料の保存に關して必要な事項を定め、保存体制の確立を図ることにより、将来にわたり広く県民の利用に供することを目的とする。</p> <p>(対象となる資料)</p> <p>第2条 この協定において希少資料とは、地域資料及び雑誌を除いた一般図書及び児童図書のうち、加入館内において1館のみが所蔵し、その所蔵冊数が1冊のみの資料（当分の間、ISBNが付されていない資料は除く。）とする。</p> <p>(単館所蔵情報)</p> <p>第3条 加入館は、埼玉版 ISBN 総合目録から抽出した単館所蔵リストにより希少資料であることを確認するものとする。</p> <p>(保存)</p> <p>第4条 希少資料であることが確認された場合は、著しい汚破損等により利用に供することができない場合及び<u>保存除外資料</u>を除き、<u>当分の間</u>、当該資料を所蔵する図書館で責任を持って保存する。</p> <p>(協議)</p> <p>第5条 この協定の運用の諸問題等について協議するため、随時加入館の担当者連絡会議を開催する。</p> <p>(庶務)</p> <p>第6条 この協定に關し必要な事務は、当分の間、図書館協力担当者事務局である埼玉県立熊谷図書館において処理する。</p> <p>(その他)</p> <p>第7条 この協定に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。</p> <p>附 則</p> <p>この協定は、平成18年6月9日より運用する。</p> <p>附 則</p> <p>この協定は、平成 年 月 日より運用する。</p>

埼玉県公共図書館等における資料保存実施要領の改正（案）

平成〇〇年〇月〇日改正
理事長決裁

（目 的）

第1条 この要領は、埼玉県公共図書館等における資料保存に関する協定（以下「協定」という。）第7条に基づき、希少資料の保存の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

（保存の調整）

第2条 協定第4条で規定する「著しい汚破損等により利用に供することができない場合」とは、次の各号のいずれかに該当する場合とする。

- 一 汚破損の状態がひどく、修復しても利用に耐えないと認められるとき
- 二 選定基準外の資料であり、当該資料を保存しておくことに運営上支障があると認められるとき
- 三 その他利用に供することが著しく困難な場合

2 前項第二号又は第三号に該当する場合は、その事務処理に際し、埼玉県立熊谷図書館（以下「熊谷図書館」という。）と調整を行うものとする。

（保存除外資料）

第3条 協定第4条で規定する「保存除外資料」とは、次の各号のいずれかに該当するもので、希少資料ではあるが、その除籍等については所蔵館に一任するものとする。

- 一 コンピュータ関係資料
- 二 旅行案内書に類する資料
- 三 冠婚葬祭、医学、家政学、文例集・挨拶事例集に類する実用書
- 四 年版または新版が発行され、その内容が同一内容または最新情報に書き換えられている資料（ただし、年鑑・年報・統計書・白書類を除く）
- 五 その他、図書館協力担当者会において、協議し、保存する必要がないと理事長が認めた資料

（データ抽出）

第4条 熊谷図書館は、埼玉版 ISBN 総合目録（以下「ISBN 目録」という。）の各館データから単館所蔵データを抽出し、加入館に配布する。

2 抽出するデータは1年毎の新規更新とし、毎年第4回（1月末現在）の ISBN 目録の各館データを基準とする。

（システム投入）

第5条 加入館は、配布されたデータファイルを各館の図書館システムに取り込み、除籍時に識別できるよう、コメント出力等の処理をするものとする。

2 図書館システムへデータ投入ができない場合は、第3条に該当する資料を除き、次の方法のいずれかにより、加入館が除籍時に識別できるよう対処す

るものとする。

- 一 単館所蔵資料にラベル貼付をする。
- 二 ISBN 目録で除籍予定資料の ISBN 番号を読み込ませ、自館しか表示されない資料について、除籍予定からはずす。
- 三 単館データファイルを検索し、合致するものについて、除籍予定からはずす。

(要領の見直し)

第6条 この要領は、埼玉県内の図書館を取り巻く状況の変化を踏まえ、必要に応じて見直しをするものとする。

(協 議)

第7条 本実施要領に定めのない事項に関しては、図書館協力担当者会で協議の上、理事長が別途定める。

附 則

この実施要領は、平成19年1月10日より運用する。

附 則

この実施要領は、平成 年 月 日より運用する。

埼玉県公共図書館等における資料保存実施要領の一部を改正する要領新旧対照表（下線の部分は、改正部分）

改正案	現行
<p>埼玉県公共図書館等における資料保存実施要領</p> <p>(目的)</p> <p>第1条 この要領は、埼玉県公共図書館等における資料保存に関する協定（以下「協定」という。）第7条に基づき、希少資料の保存の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。</p> <p>（保存の調整）</p> <p>第2条 協定第4条で規定する「著しい汚破損等により利用に供することができない場合」とは、次の各号のいずれかに該当する場合とする。</p> <p>一 汚破損の状態がひどく、修復しても利用に耐えないと認められるとき</p> <p>二 選定基準外の資料であり、当該資料を保存しておくことに運営上支障があると認められるとき</p> <p>三 その他利用に供することが著しく困難な場合</p> <p>2 前項第二号又は第三号に該当する場合は、その事務処理に際し、埼玉県立熊谷図書館（以下「熊谷図書館」という。）と調整を行うものとする。</p> <p>（保存除外資料）</p> <p>第3条 協定第4条で規定する「保存除外資料」とは、次の各号のいずれかに該当するもので、希少資料ではあるが、その除籍等については所蔵館に一任するものとする。</p> <p>一 コンピュータ関係資料</p> <p>二 旅行案内書に類する資料</p> <p>三 冠婚葬祭、医学、家政学、文例集・挨拶事例集に類する実用書</p> <p>四 年版または新版が発行され、その内容が同一内容または最新情報に書き換えられている資料（ただし、年鑑・年報・統計書・白書類を除く）</p> <p>五 その他、図書館協力担当者会において、協議し、保存する必要があると理事長が認めた資料</p>	<p>埼玉県公共図書館等における資料保存実施要領</p> <p>(目的)</p> <p>第1条 この要領は、埼玉県公共図書館等における資料保存に関する協定（以下「協定」という。）第7条に基づき、希少資料の保存の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。</p> <p>（保存の調整）</p> <p>第2条 協定第4条で規定する「著しい汚破損等により利用に供することができない場合」とは、次の各号のいずれかに該当する場合とする。</p> <p>一 汚破損の状態がひどく、修復しても利用に耐えないと認められるとき</p> <p>二 選定基準外の資料であり、当該資料を保存しておくことに運営上支障があると認められるとき</p> <p>三 その他利用に供することが著しく困難な場合</p> <p>2 前項第二号又は第三号に該当する場合は、その事務処理に際し、埼玉県立熊谷図書館（以下「熊谷図書館」という。）と調整を行うものとする。</p>

(データ抽出)

第4条熊谷図書館は、埼玉版 ISBN 総合目録（以下「ISBN 目録」という。）の各館データから単館所蔵データを抽出し、加入館に配布する。

2 抽出するデータは1年毎の新規更新とし、毎年第4回（1月末現在）の ISBN 目録の各館データを基準とする。

(システム投入)

第5条 加入館は、配布されたデータファイルを各館の図書館システムに取り込み、除籍時に識別できるよう、コメント出力等の処理をするものとする。

2 図書館システムへデータ投入ができない場合は、第3条に該当する資料を除き、次の方法のいずれかにより、加入館が除籍時に識別できるように対処するものとする。

一 単館所蔵資料にラベル貼付をする。

二 ISBN 目録で除籍予定資料の ISBN 番号を読み込ませ、自館しか表示されない資料について、除籍予定からははずす。

三 単館データファイルを検索し、合致するものについて、除籍予定からははずす。

(要領の見直し)

第6条 この要領は、埼玉県内の図書館を取り巻く状況の変化を踏まえ、必要に応じて見直しをするものとする。

(協議)

第7条 本実施要領に定めのない事項に関しては、図書館協力担当者会で協議の上、理事長が別途定める。

附則

この実施要領は、平成19年1月10日より運用する。

附則

この実施要領は、平成 年 月 日より運用する。

(データ抽出)

第3条 熊谷図書館は、埼玉版 ISBN 総合目録（以下「ISBN 目録」という。）の各館データから単館所蔵データを抽出し、抽出されたデータをテキストファイルで、CD-R 等の媒体で加入館に配布する。

2 抽出するデータは1年毎の新規更新とし、毎年第4回（1月末現在）の ISBN 目録の各館データを基準とする。

(システム投入)

第4条 加入館は、配布されたデータファイルを各館の図書館システムに取り込み、除籍時に識別できるよう、コメント出力等の処理をするものとする。

2 図書館システムへデータ投入ができない場合は、次の方法のいずれかにより、加入館が除籍時に識別できるよう対処するものとする。

一 単館所蔵資料にラベル貼付をする。

二 ISBN 目録で除籍予定資料の ISBN 番号を読み込ませ、自館しか表示されない資料について、除籍予定からははずす。

三 単館データファイルを検索し、合致するものについて、除籍予定からははずす。

(協議)

第5条 本実施要領に定めのない事項に関しては、図書館協力担当者会で協議の上、別途定める。

附則

この実施要領は、平成19年1月10日より運用する。